

地域にとっては大変大きな課題であり、関係する区長さんのご苦労には大変感謝している。

②基本的にはナイスロードを利用。施設の稼働が具体的にいった段階で関係者と調整を図りたい。



橋爪重利

農業について

**問** 橋爪重利議員 ①法人と認定農家の育成は。②農業機械等導入事業補助金交付要綱中には認定農家は補助対象者に含まれていない。認定農家は農業や地域に貢献している。補助対象とする考えは。

③農家が所有する重機を使用し、小規模面積の集約事業は。④就農者の高齢化、後継者の減少、T P P、減反補助廃止の状況下で、市の農業施策は。

**答** 市長 ①法人も認定農家も支援して行く。②一定期間、新規就農希望者の研修を受け入れた認定農家などは対象になるよう検討したい。③国の補助を有効活用。④県、

J Aなど関係機関と協力し、中山間地や小規模農家が生産を継続できるように地域の特性に応じた制度設計を要望していく。

学力テストの成績公表について

**問** 橋爪重利議員 ①市全体を公表し、学校別公表は小規模校がある当市においては慎重な対応をすべき。②保護者への結果の通知は文書が望ましいが状況は。

**答** 市長 ①過度な競争や序列化が心配。慎重な対応が必要と考える。②教育委員長 ①テストの目的は個人の状況を見て今後の授業づくりを目指すもの。学校、地域の序列化や競争につながる公表は望ましくない。市全体の公表は慎重に判断したい。②21校中19校が文書。授業改善の方向を具体的に伝えるよう学校へ依頼している。



前田久子

農業政策について

**問** 前田久子議員 ①減反廃止による転作への誘導策と市の農業形態がどうあるべきと考えるか。②地域おこし協力隊導入と集落支援員の活用は。③ふるさと納税のお礼に評価の高い伊那のお米を活用し、農家の増収につながる考えは。

**答** 市長 ①米づくりを中心に、転作作物である麦、大豆、そば、飼料作物などの振興を図る。②協力隊は4名を募集。「移住・定住促進プログラム」の中で、地域おこし活動に従事してもらう。支援員は1名、定住・移住に向けた相談、支援活動を行う「トータルコーディネーター」の役割を担ってもらう。③伊那ならではのものといった地域振興につながるものを検討する。また寄付目的を明確にするなど今後も検討したい。

NPO活動への支援、養成

**問** 前田久子議員 今後多様化する行政運営の中で、力を発揮して下さるNPOへの支援、養成をどうしていくか。

**答** 市長 37団体が活動。設立のための講座など開催し、育成などの支援を行う。

期日前投票の環境整備

**問** 前田久子議員 投票所での混乱と高齢者、障がい者の負担軽減のため、宣誓書をホームページか選挙ハガキの裏面に記載できないか。

**答** 選挙管理委員長 ホームページへ載せる方向で検討していく。障がい者などへの対応も注意を払っていく。



飯島光豊

米の所得補償削減・廃止、減反廃止の政策について

**問** 飯島光豊議員 ①大きく変えられる市の米農業をどう考えるか。②所得補償削減で市の農家への影響額は。

**答** 市長 ①中山間地域、中小農家の多い伊那でも米生産が継続できるような制度設計とするよう要望している。②25年産直接支払交付金2億6000万円が半減するので1億3000万円の影響が26年産から出る。

伊那市の学校給食のあり方

**問** 飯島光豊議員 ①センター方式か自校方式かの結論は。②市長が私的な懇談会を立ち上げたことは教育委員会の独立性に介入することにならないか。③西箕輪小学校保護者のアンケートで9割が自校方式を支持する結果をどう考えるか。

**答** 市長 ①教育委員会の要望を受けて判断したい。③自校なのかセンターなのか二者択一ではない。②教育委員長 ①学校給食あり方作業部会が3月までの予定で出た成果を踏まえ、教育委員会で学校給食のあり方を定め、整備方針を含めて市長に要望する。

**問** 教育委員長 ②市長が専門の人に聞いて理解を深めると言うことは必要であるという認識。

伊那市ほっと券(福祉灯油券)交付事業の実施について

**問** 飯島光豊議員 市福祉灯油券の交付事業実施は。

**答** 市長 現段階では実施の予定はない。今後、石油備

格の動向を注視していきたい。



二瓶裕史

創業・起業支援とICT教育

**問** 二瓶裕史議員 ①起業家を支援し、受け入れるという点をPRするには、独自性のある起業支援が必要である。②ICT教育は、技術面からモラル教育に至るまで幅広い経験と知識が必要。専門の支援員を置いてはどうか。

**答** 市長 ①より積極的な研修・相談対応によって、独自性ある支援に努めたい。②地域おこし協力隊で対応できるか検討したい。

ふるさと納税について

**問** 二瓶裕史議員 ①市のPRという観点から、特産品をお礼の品にしてはどうか。山岳観光も絡めては。②伊那の水道水はおいしい。お礼の品にし、販売もしてはどうか。

**答** 市長 ①そろそろ見直すべきという思い。受け

取る側の希望などもリサーチをしたい。伊那に来てもらう仕掛けも考えたい。②販売し利益が出たり、民間業者が手を挙げるのであれば可能。

**問** 二瓶裕史議員 ワンストップ窓口を、移住希望者などが利用しやすい一階の分りやすいところに設置しては。

**答** 市長 気軽に足を運びやすいよう、検討していきたい。

**問** 唐澤千明議員 ①住宅使用料徴収を県住宅供給公社に委託したが移行状況は。②古い団地は風呂がなく、汲み取りだが改善への考えを。③大萱、若宮団地の将来建て替えの予定があるか考えを。④今後、大萱団地をコンパクトに建て替え、後に跡地を民間活用する考えは。

伊那市移住・定住促進プログラムについて

**問** 二瓶裕史議員 トップ窓口を、移住希望者などが利用しやすい一階の分りやすいところに設置しては。

**答** 市長 気軽に足を運びやすいよう、検討していきたい。

**問** 唐澤千明議員 ①11月11日(金)の夜、伊那市市民会館で「ふるさと納税のお礼に伊那のお米を活用し、農家の増収につながる」と題した講演会を開催する。市長は講演する。市長は講演する。

**問** 唐澤千明議員 ①11月11日(金)の夜、伊那市市民会館で「ふるさと納税のお礼に伊那のお米を活用し、農家の増収につながる」と題した講演会を開催する。市長は講演する。市長は講演する。

中学生の課外活動からの発信

**問** 唐澤千明議員 ①B1グランプリで伊那の魅力発信をした伊那中生徒会のまちおこしの考えを。②部活動の朝練習について「早朝練習を原則廃止すべきだ」との提言に、人間形成にも役立つ朝練習の存続を希望するが考えを。

**答** 市長 ①学校生活を通じて伊那の知名度を高める活動に期待。地域に対する誇りを醸成しながら健やかに成長してほしい。②県教育委員会の方針を参考に、学校・地域の実情も考慮し、よりよい部活動のあり方について検討していく。

お知らせ

傍聴にお越しく下さい

12月定例市議会は、82名の方が傍聴されました。定例市議会は、どなたでも傍聴できますので、お気軽に傍聴にお越しください。なお、団体で傍聴される場合は席に限りがありますので、あらかじめ議会事務局までご連絡ください。

請願・陳情

請願・陳情書は、定例会開会前に開催される議会運営委員会前日までに提出されたものを、その定例会で審査します。提出された請願・陳情は、定例会本会議で委員会へ付託し、審査報告の後、採決します。

次回3月定例会審査の受理期限は、2月21日までです。(期限は、変更となる場合もあります。議会事務局へご確認のうえご提出ください。)

議会中継

議会中継は、伊那ケーブルテレビ「伊那市チャンネル」で放送しています。翌日には再放送も行っていますので、是非ご覧ください。

チャンネルは次のとおり。  
デジタル 11チャンネル  
アナログ 28チャンネル  
S T B (デジタルチューナー) でご覧になる場合はデジタル C 511チャンネル

次回3月定例会の詳しい放送予定は、「市報いな」3月号をご覧ください。また、市公式ホームページでは議会本会議を録画配信しています。一般質問は議員別に視聴できますのでこちらもご覧ください。  
<http://www.inacity.jp/>



伊藤 泰雄 議長